





# 審査結果報告書

2000年 1月 5日

主査	氏名	阿古 昭司	
副査	氏名	岡本 浩爾司	
副査	氏名	青山 直善	
副査	氏名	鳥井 晋三	

1. 申請者氏名 : 田中 佑貴

2. 論文テーマ : The impact of uncorrected mild aortic insufficiency at the time of left ventricular assist device implantation  
(補助人工心臓植え込み時の中等度大動脈弁閉鎖不全症が及ぼす影響に関する研究)

3. 論文審査結果 :

植え込み型人工心臓は重症心不全患者の治療法として定着してきている。左室から血液を抜き、大動脈に血液を送り出す植え込み型人工心臓は、その構造上の理由から血行動態を変化させることにより大動脈弁閉鎖不全症を増悪あるいは発症させることが知られている。中等度以上の逆流であれば人工心臓植え込み時の合併手術が推奨されているが、軽度の大動脈弁閉鎖不全症が術後の運動機能や生活の質に与える影響は知られていない。

申請者は、補助人工心臓植え込みを行った694名の患者の臨床データを後方視的に解析した。経胸壁心臓超音波の結果をもとに軽症の大動脈閉鎖不全の有り無しの2群でその後の予後と生活の質を検討した。補助人工心臓植え込み術前の軽症の大動脈弁閉鎖不全症は、生存率には影響を与えなかったものの、NYHA機能クラスの悪化、入院を要する心不全の発生と有意に関連していた。

学位論文は多くの患者データを用いた詳細なものとなっており、また、この結果は実臨床における人工手術植え込み時の手術術式の選択に関して、よいガイダンスを与える非常に重要なものと考えられる。公開審査では、申請者は副査および主査からの質問に適切な対応が可能であった。副査および主査は、学位論文の内容の高さおよび質疑応答の的確さから医学博士の学位にふさわしいと判断した。